



IAS 戦略 2026 およびその先 (要約版)

私たちのビジョン：

HIV がもはや公衆衛生上の脅威でなくなり、個人の健康に脅威を与えることのない世界を実現する。

私たち独自の役割：

世界的な HIV 対策の結集をはかる。成果はサイエンス（科学）とポリシー（政策）、アクティビズム（活動）が融合することでもたらされる。

私たちの使命：

- 第一線で活躍する人たちを集め、科学的発見を**加速させる**。
- 最新の知識へのアクセスを可能にし、誰もが**利用できるようにする**。
- エビデンスと人権に基づく政策の実現を提唱し、**推進する**。
- 人びとを**勇気づけ（エンパワー）**、世界の HIV 対策が科学とコミュニティの視点に沿って確実に実施されるようにする。

私たちの戦略目標： HIV 陽性者、および HIV 感染のリスクに直面している人たちが最善の生活の質を得られるようにする。公平性を確保し、新規 HIV 感染と HIV 関連の死亡を減らすために、エビデンスに基づき、人権を基本に置いた HIV 対策を進めていく。

アプローチの二本柱：

- すべてのステークホルダーに対し、科学的成果とサービス提供の改善、そして構造的な問題や健康の決定要因について課題を示し、議論を重ね、対応していくためのプラットフォームを提供する。
- エビデンスに基づき人権を尊重して、現在の最重要課題に対処する。そのために人びとを集める力とパートナーシップ、発言力を活用して以下の四重要分野で成果を上げ、HIV 対策を支えていく。

エビデンスに基づく HIV 対策の持続

対策を担う主要な人たちに呼びかけ、メッセージの発信力を高め、協調してアドボカシー活動を進めることで、具体的な行動に協力してあたる。大きな影響を受け、その負担に苦しむ地域のパートナーとの協力を通してデータに基づくアドボカシー活動に取り組み、行動を促す。さらに、会議招集力を生かしアドボケーターが政治的な関与の場と資金提供を求められるよう支援する。

目指すべき成果：

政策の意思決定者が、世界レベル、地域レベル、および地方レベルで、エビデンスに基づく HIV 対策の持続に関与し続ける。

予防対策の大規模展開

最新の予防技術に関するエビデンスに基づき政策立案者とプログラム実施者が迅速に行動することを支援する。保健医療のサービス提供者が十分な情報に基づいて予防策を選択できるよう支援し、コミュニティや政策立案者と協力して予防対策の改善に向けた提言活動を行う。

目指すべき成果

エビデンスに基づく HIV 予防サービスへのアクセスが、途切れることなく確保される。

人を中心にした（people-first）スティグマのないサービス

エビデンスに基づき、個別の人の事情に合わせた分化型サービスが導入できるよう政策立案者、資金提供者、サービス提供者を支援し、HIV 関連サービスと他のサービスとの連携の強化をはかる。スティグマのないサービス提供と非犯罪化、そして政策変更を促すために私たちのプラットフォームを活用する。

目指すべき成果：

政策立案者、サービス提供者、資金提供者が最新のエビデンスとガイダンスを活用し、HIV 陽性者および HIV の影響を受けるすべての人たちのニーズを満たせるようサービスを拡大する。

科学的イノベーションの継続

資金削減下においても研究の能力とリーダーシップを強化していく。イノベーションの促進に私たちのプラットフォームを活用し、重要なエビデンスギャップを埋めることができる研究課題に焦点を当て、研究開発を支援する。

目指すべき成果

HIV 科学における重要なエビデンスギャップの解消につながる研究とイノベーションが持続する。